

1：子ども食堂とは？

今、全国各地に「子ども食堂」という名称の食堂がたくさんオープンしています。この取り組みは 2012 年頃から始まったようです。

子ども食堂とは？

「今日の晩（昼）ご飯は僕 1 人で食べるんで。」

「お母さんが仕事の日は、コンビニでお弁当買って食べてるの。」



——そんなとき、子どもが 1 人でも入れるのが「こども食堂」です。

栄養満点のあったかいごはんをつくって待っているのは、近所のおじちゃん、おばちゃん、お姉さん、お兄さんたち。

経済的に厳しかったり、ひとり親で食事の支度がままならなかったりと、様々な事情を抱えた子どもたちに、無料や低価格で食事を提供する場所。育ち盛りの子供に十分な栄養をとってもらうとともに、大人数で食卓を囲む楽しさを知ってもらいたいもあります。

相次ぐ子ども食堂オープンの背景

《子どもの欠食・孤食などの問題》

女性の社会進出も進む中で、共働き家庭や離婚・未婚等によるひとり親家庭が増えています。おじいちゃん、おばあちゃんと一緒に暮らす家庭も少なくなり、核家族が中心で、近年子どもだけで夕飯時に家で留守番をすることが多くなってきました。

《子どもの食育・栄養バランスの不十分さ》

経済的な理由から満足に食事がとれなかったり、インスタント食品やコンビニ弁当、お菓子などで済ませてしまう子ども達もいるようです。親が仕事で忙しい、あるいはほったらかしである（ネグレクト）など、親子の会話時間が十分に取れる「家族団らん」ということそのものが難しくなっています。

《子どもの貧困問題の深刻化》

調査では国内で貧困状態にある 17 歳以下の子どもの割合は 2012 年に 16.3%（実に 6 人に 1 人）に上り、過去最悪を更新しています。

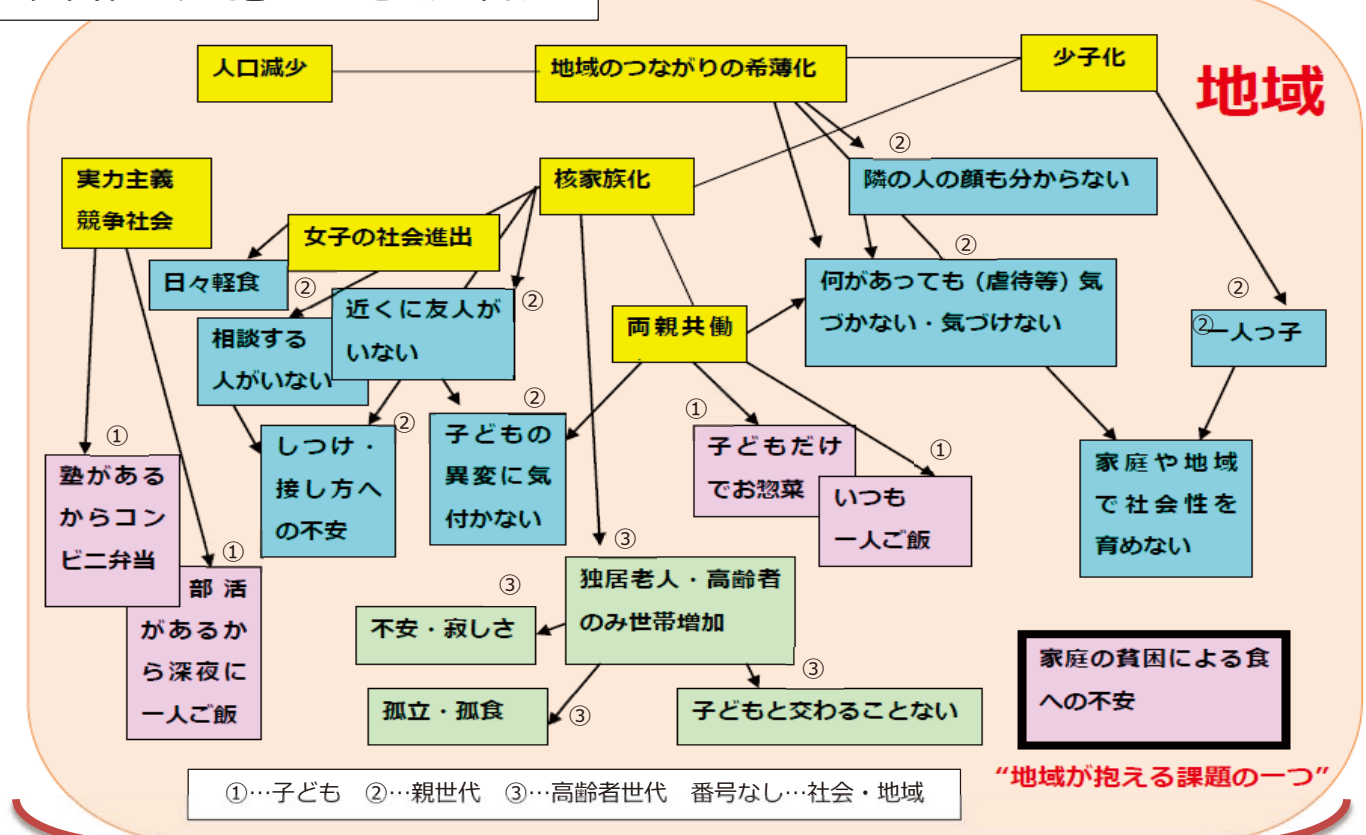
温かい食事は生きる力に…

（温かい食事、楽しい団らん、空腹を満たしてくれる存在、自分を気にかけてくれる存在、そんな何気ないことが「明日も頑張ろう」という明日を生きる力に繋がります。）

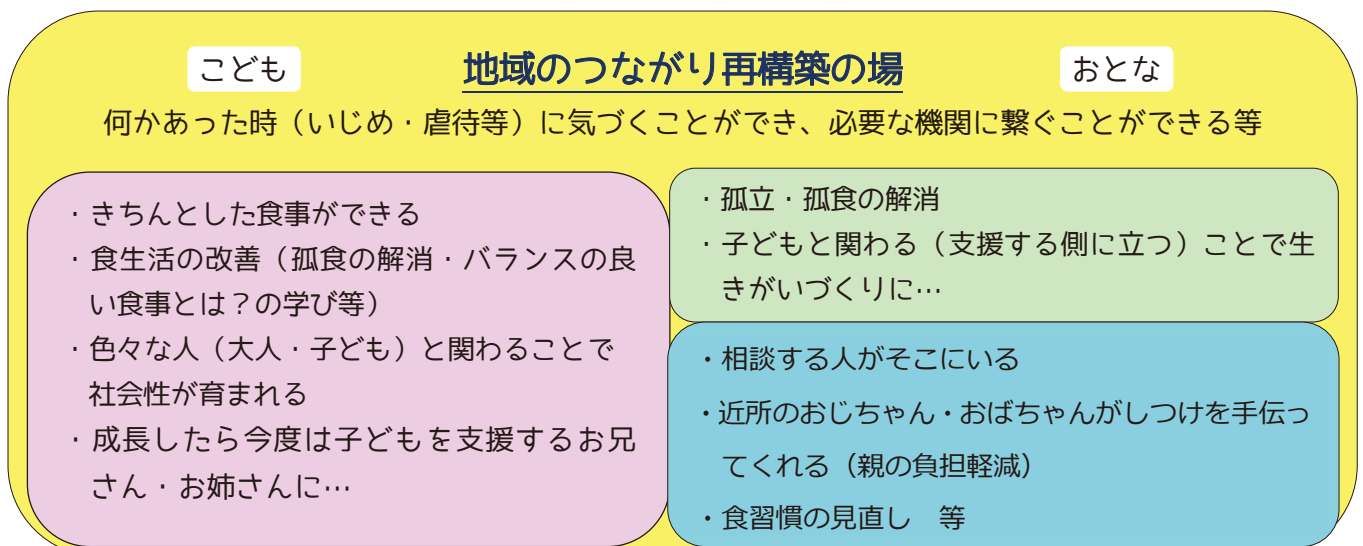
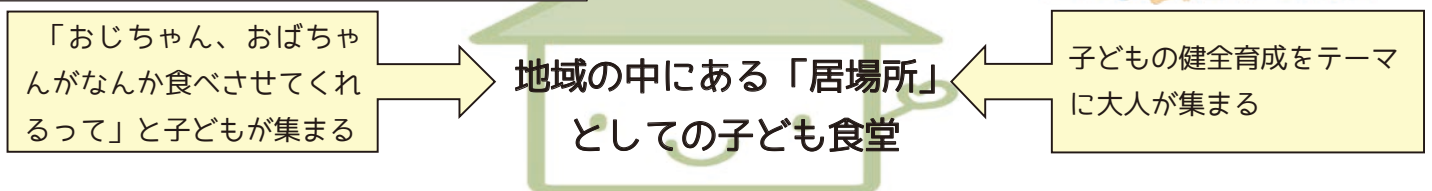


子どもの食育、共働きや一人親家庭への支援、地域の高齢者の孤食問題など、地域に広がる様々な課題に対応できる可能性がある「居場所としての子ども食堂」に注目が集まっています。

現代社会が抱える地域の課題



子ども食堂に期待される効果



解 説 ～大分県社会福祉協議会が広めたい「地域の居場所」～

「子ども食堂」には明確な定義がなく、それぞれの実施主体・運営者の方々が、それぞれの思い・志に添った「自分たちの子ども食堂」を展開されています。

何が正解ということではなく、それぞれの食堂が素晴らしい取組みをされていると思います。

では、本会としてはこういった「子ども食堂」を目指して実施をしたのかについて、ここで少しご説明したいと思います。

左図にもあるように、現代社会が抱える地域の課題は、非常に複雑多岐にわたっています。「人口減少・少子高齢化社会」等の社会背景の上に、「核家族化・共働き世帯の増加」など家族構造が変化し、その結果、それぞれの世代が以下のような悩みを抱えています。

お母さん・お父さん世代

「核家族化により、近くに友人や相談できる人もおらず、子育てを1人でしないといけない不安感」「仕事が忙しくて自分のことで精一杯。子どもに十分関われない。毎日忙しくて子どもの異変に気づかない」など

おじいちゃん・おばあちゃん世代

「孤立による不安感」「孤食（1人で食事をする）による栄養バランスの乱れ」「他者と関わる機会の減少による健康バランスの崩れ(認知症の増加等)」など

子ども世代

「塾が忙しくコンビニ弁当で夕食を済ます：偏食」「部活で帰るのが遅く、家族が食べ終わった後に、1人で夕食：孤食」「両親が忙しいため、毎日子どもだけで食事：団らんを知らない」「“きょうだい”がいらないため、違う年齢層の子ども達と関われない：社会性を育む場がない」など

本会が考えたのは、そんなそれぞれの世代が抱える悩みの解消の一助となるような、「居場所」としての子ども食堂です。

「居場所づくりって、サロン活動と何が違うの?」「大人も来ることができるなら“子ども”食堂でなくてもいいのでは?」という疑問を持つ方もいると思いますが、本会は必ずしも「子ども食堂」という名称にこだわっていません。サロン活動の一環として、孤食になりがちな高齢者の方や子ども達に食事を提供したり、お母さんたちの相談にのる活動があっても良いと思います。

大事なのは、

「[※]地域に、みんなが気軽に集まって、団らんをしながらお腹を満たしたり、相談し合えたり、談笑できたりする“居場所”がある」

ということだと考えています。

そんな居場所を一か所でも多く増やしていきたいと思っています。

注意：これは「社協」の使命に基づく大分県社協としての考え方であり、各地で子ども食堂を展開されている方々の考えを否定するものではありません。

全国の子ども食堂の運営方法の例

◆運営等について

運営	地域のボランティアさん、NPO、法人・団体、町内会など、志を同じくするメンバーが集まって運営しています。
実施している場所	個人の家、集会所や公民館、隣保館、普段は喫茶店等を運営しているお店を一時的に賃貸、民間施設の間借りなど様々です。
運営費	善意の寄付、カンパ、行政からの助成金・補助金、企業とのコラボなど様々です。食材は、農家さんから分けていただいたり、地元（近所）の方が持ち寄ってくださる場合も多いようです。
広報	学校に協力を仰いで全校生徒にチラシを配布するなどしているところもありますが、多くは口コミが主で、「その地域に住んでいる子ども達が寄れる場所」というイメージにしているようです。
運営している人 (ボランティアスタッフ)	関わるスタッフのほとんどは無償のボランティアです。

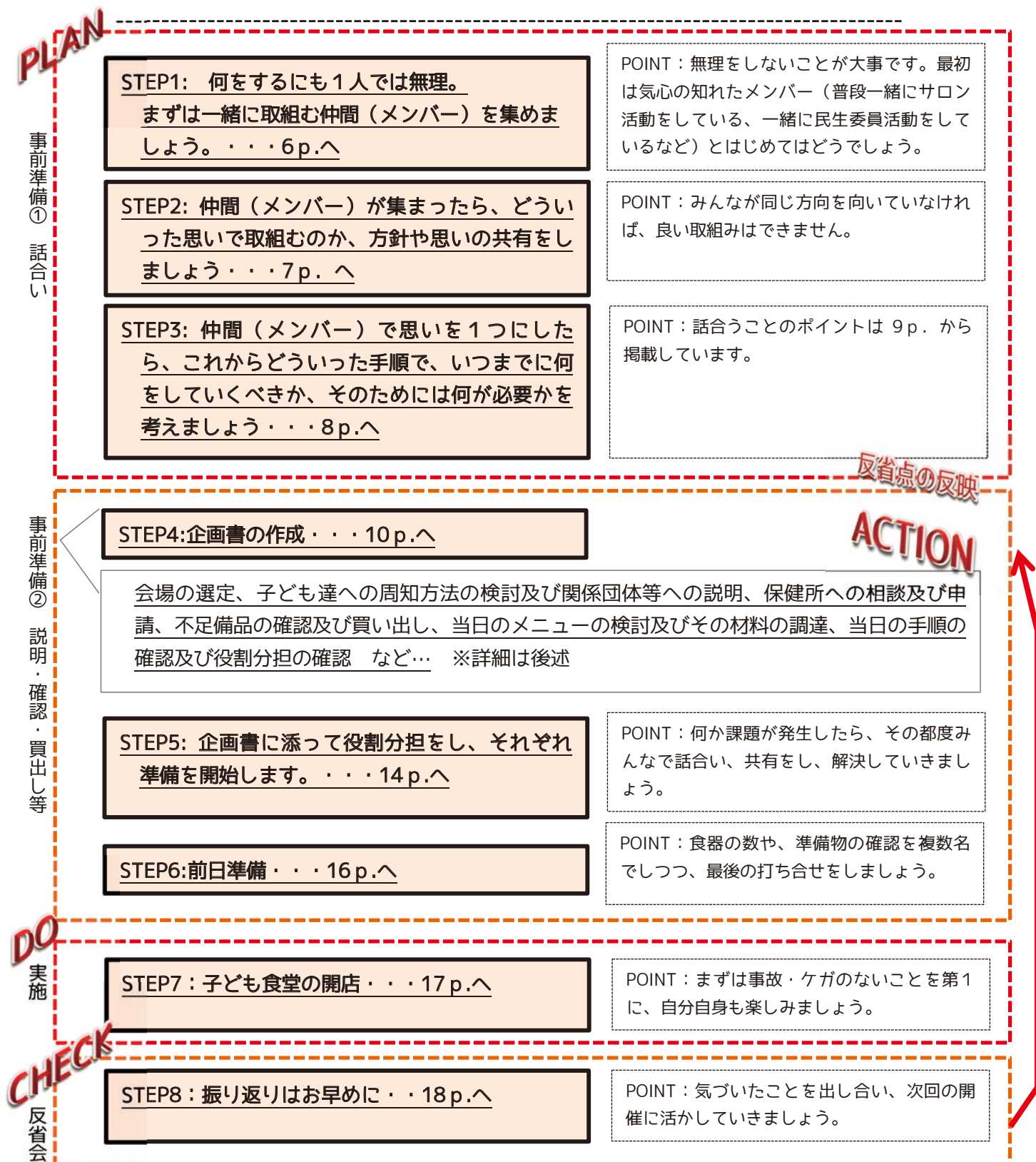
◆利用について

対象	基本的には誰でも来ることができます。 (地域によっては年齢制限を設けている場合もありますが、厳格に対象を決めているところはありません。)
活動日	2回/月、1～2回/週など、まちまちです。 時間は、学校の終了に合わせて立ち寄れるような時間、もしくは土日にひとりで過ごす子どもに合わせた設定が多いようです。
その他の機能	学習支援として宿題を一緒にしたり、お母さん達の相談にのったりする場にもなっているようです。
料金	子どもは無料～300円位です。大人は300円～500円位が多いようですが、それぞれの実施団体が話し合っているようです。 (カンパ方式で値段設定していないところもあります。)
雰囲気	一般家庭と同じようなあたたかい雰囲気。 「お客様扱い」「特別扱い」でなく、配膳などは子ども達も一緒に手伝うなど、『団らん』を大事にしているところが多いです。

※その地域のおばちゃん・おじちゃん（ボランティア）が、その地域の子ども達、困っている大人達（孤立している高齢者等）のために展開しているものです。

2：手順の流れをつかもう

立ち上げ手順の例（ロードマップ）～PDCAサイクルでまわしていきましょう～



STEP1: 何をするにも1人では無理。まずは一緒に取組む仲間（メンバー）を集めましょう。

※「短時間で」「事故・ケガがないように」「みんなが楽しく」過ごせる運営のためには、メンバーの息のあったチームワークが必要です。

※最初は気心の知れたメンバーを核にしながら、参加者の数に応じて徐々にボランティアを増やしていくなどしていったらどうでしょう。

ボランティア募集チラシ（例）

キッチン
大津町だいふくん KITCHEN では、
お手伝いをしてくれる方を募集しています。



「勉強は教えられるけど、料理は得意よ!」というお母さん、「料理は苦手だけど、子どもと遊ぶくらいやったらやろうか?」というお父さん、「涼しいお部屋で夏休みの宿題、一緒にやるのはできるかな...」というお兄さん、お姉さん。

皆さんと一緒に、良い取組みにしていきたいので、是非ご協力をお願いします!!

開催日：8月の水曜日

(8月3日、10日、17日、24日、31日)

11時30分から16時まで。好きな時間に来てね。

場 所：大分県総合社会福祉会館1階大分市大津町2丁目1番41号

対象者：校区の子どもたち（おおむね12歳以下）と保護者

参加費：無料



お名前： 緊急連絡先()	得意分野：				
①お手伝いできる項目に○をしてください。	調理	遊び	学習	見守り	送迎
②お手伝いできる日に○をしてください。	8月3日	8月10日	8月17日	8月24日	8月31日
③お手伝いいただける日は、何時から何時までお手伝い可能か、お書きください。	(時)から(時)まで				



⇒ 申込先 FAX：097-558-●●●● もしくは メール：info@oitakensyakyo.jp

お問い合わせは：大分県社会福祉協議会 地域福祉課 TEL：097-558-0300 担当：●●、●●

STEP2: 仲間（メンバー）が集まったら、こういった思い で取組むのか、方針や思いの共有をしましょう。

※良い取組みにするには、まず、メンバーが同じ方向を向いて進むことが大切です。

※そのためには、“この取組みを「なぜ」するのか”その目的を共有しておくことが最も大事になってきます。

※もしも、方向性がまとまらなかったら、その思いが1つになるまで、時間をかけて話合っておく必要があります。

だいふくんキッチンの5カ条

- 1: 焦らない・焦らせない。
- 2: 地域の人達を巻き込んでいく過程・仲間作りの過程と、その中で、目的を共有していくプロセスを大事にする。
- 3: 「居場所づくり」を重視する。（レッテルを貼らない仕組み作り）
- 4: でも「必要な子ども達に必要な支援が届くようにしていく」という目標は忘れない。
- 5: 無理をしない。（一息にいろんなことはできない。メンバーも楽しみながらやる。）

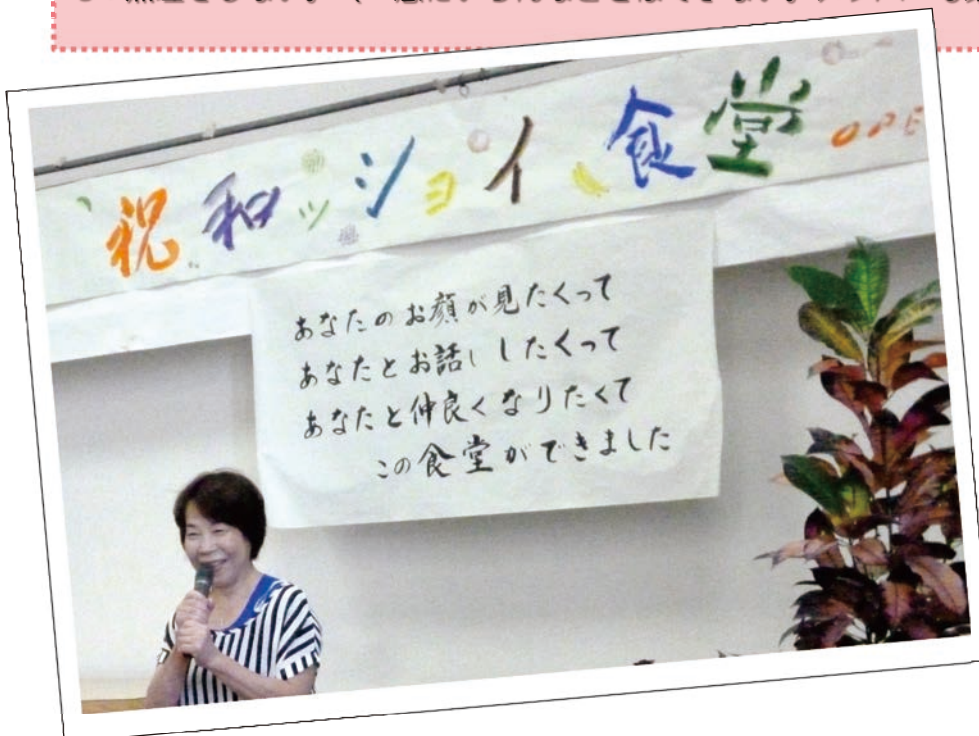


写真:

杵築市の「和ッショイ食堂」さ
んのオープニングセレモニー
の様子

和ッショイ食堂では、子どもだけでなく、いつも1人で食事をお食事をされている高齢者の方、子育て中のお母さん、みんなが集まれる居場所としての食堂を目指しています。

「思いのある人と話合う、共有するプロセスがまちづくりだと思います。」

NPO 法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク代表 栗林 知絵子さん

STEP3: 仲間（メンバー）で思いを1つにしたら、これからこういった手順で、いつまでに何をしていくべきか、そのためには何が必要かを考えましょう。

※メンバーで思いを1つにしたら、「これから何をしなければならないのか？」検討をしてみましょう。

だいふくんキッチンを開催前に実施したメンバーアンケート（例）

アンケート
お忙しいところ恐縮ですが、意見だしに御協力をお願いします。

記入者 _____

Q	A
食堂の愛称(案)	
必要と思うものを思いつく限り書いてください。	

Q	協力者	何人くらい必要？
必要なメンバーについて書いてください。		

Q	内容	協力者	声をかけられる可能性のある団体等
同時実施したらよいと思う取り組みがあれば教えてください。			

Q	開催回数	開催曜日	時間帯
開催日等についてご意見をお聞かせください			

Q	項目	内容
その他確認が必要と思われることがあればご記入ください。	(例) 保健所への確認	・管理者の有無 ・設備的に良いか ・料金を取ってよいかなど
広報について	例：チラシを全戸配布	

その他共有したい情報などあればお書き下さい。

ご協力ありがとうございました。

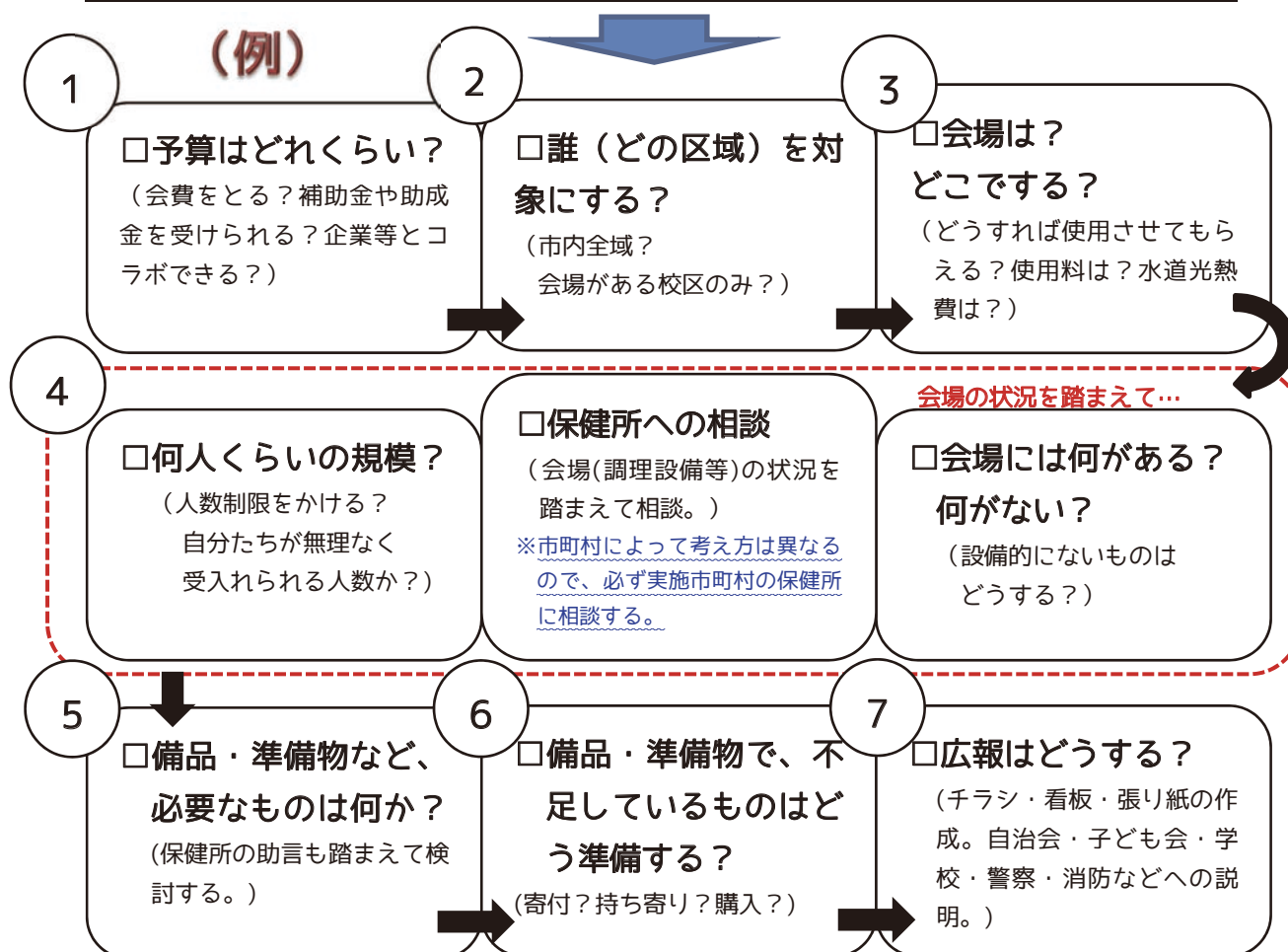
だいふくんキッチンでは、事前にメンバーに意見だしのアンケートを書いてもらい、それを持ち寄って話し合いをしました。

みんなで意見を出し合いながら企画をまとめていきましょう。

話し合うことのポイント

※6W3H を基本に考えましょう。

What	何を	【 仕事の内容、種類、性質、分量 】
Why	なぜ	【 意義・目的、動機、理由、狙い、背景、必要性 】
Who	誰が	【 組織、担当、グループ、中心人物、役職、人数、主人公 】
Whom	誰に	【 相手、関係、人数 】
When	いつ	【 着手時期（タイミング）、期限、時間、納期、スケジュール、季節、頻度 】
Where	どこで	【 場所、位置、職場内外、屋内外、出先、舞台 】
How	どのように	【 手段、方法、段取り、テクニック、進め方、期待度 】
How much	いくら	【 数量、予算、単価、範囲 】
How many	どのくらい	【 規模 】



STEP4: 企画書の作成

※話し合った内容をまとめてみましょう。

(企画書の例)

目的：県社協によるモデル的实施と手引書の作成。

(3月に県社協の建物内にあるレストランが撤退したので、その跡地を活用して夏休み子ども食堂をモデル的に実施し、その行程・手法をまとめ、普及に向けた手引書を作成する)

名称(案)「だいふくんキッチン」

※ アンケートにて類似名称が多かったため。「大きな溜をもたらし場」という意味を込めて

① 対象

校区内の小学生に限定(保護者同伴可) ※事前申込制にする…(アレルギー確認及び人数を掌握するため)

② 会場

総合社会福祉会館 喫茶跡地を中心に考える ⇒ 人数に応じて他の部屋を借りる。

③ 開催回数・曜日(案)

毎週1回(水曜日) → 8月3日、10日、17日、24日、31日《計5回》

※ 第1回目計画・準備 → 実行 → 振り返り → 第2回目計画・準備 → 実行…と内容を十分に精査しながら進めるには、週1回ペースが良いのではないかな。

④ 開催時間帯(案)

11:30~16:00 (メンバー活動時間 9:00~17:00)

9:00	メンバー集合
11:30	OPEN
12:00	昼食提供 → 食べ終わった子達から、学習支援等の取組みに参加を促す。
14:00~16:00	学習支援・レクリエーション
16:00~17:00	片付け・振り返り

⑤ 同時開催(案) ※皆さんの意見から

※ **学習支援** (大学生や地域のボランティアさんに声かけ) ・ **工作やあそび教室** (高齢者等との触れ合い)

⑥ 協力者(ボランティアを募る方法の案をいただきたいです)

※ **料理が上手な人** (5人以上) ※ **見守りや運営** (5人以上)

⑦ 広報

※ **広報の方法** チラシ配布、回覧板、関係団体への説明

⑧ 購入備品の見積

※別途計算

Why
目的は?

名称は?

Whom
対象は?

Where
会場は?

When
いつやる?

How many
規模は?

What
内容(タイムスケジュール)は?

Who
誰がやる?

How much
予算は?

企画をまとめる際のポイント Q&A

※企画をまとめる際には、絵に描いた餅にならないように、常に「実現可能性」を考慮しながら進めましょう。

※また、「いかにリスクを避けるか」というリスクマネジメントの視点をもって企画をしましょう。

(特に話し合っておきたいことの例)

Q1

- ☐ どうやって子どもに来てもらうか？

どの地区まで対象にするのか？
いかにお知らせをするのか？
子ども達だけで来てもらうのか？
送迎や見守りをするのか？
等、検討が必要です。

Q2

- ☐ そもそもどの家庭が貧困か分からない。

貧困を前提にした食堂はやめましょう。

Q3

- ☐ 場所はどこにする？

公民館、自宅、福祉施設や学校の
コミュニティールーム？

だいふくんキッチンでは…

- ★校区内の小学生を対象をしぼり、
小学校にご相談に伺いました。

事前にモデル事業の説明をし、全校生徒にチラシを配布させていただけたことで、多くの子ども達にご協力いただきました。
地域で実施するにあたって、その地域の皆さんにご理解をいただくことは必須だと思います。

だいふくんキッチンでは…

- ★限定するとレッテルをはることになり、
誰も来なくなります。

地域の子どもを地域みんなで育てるという感覚で楽しみながら進めました。

だいふくんキッチンでは…

話し合いにより、対応可能な人数（10人や30人など）や既にある活用可能な場所（公民館・福祉施設など）から決定しますが、①調理する場所がある、②学校の近くなど（小さな子どもが迷わない・防犯面から）分かりやすい場所にあると良いと考えました。

Q4

□ 費用はどう工面するか？

何をするにも資金は必要ですので、いかに工面するのかは、事業に取り組む前に検討しましょう。

Q5

□ 保健所への届け出は？

市町村によって考え方はマチマチですが、必ず相談し、アドバイスをいただきましょう。

Q6

□ 参加費をとるか？

全国的には無料の所、100～300円ほど参加費をとるところなど色々です。

Q7

□ 食材はどう調達するか？

色々な方、団体等からの寄付で食材をまかなっているところも多くあります。いかに寄付を募るのか（地元の農家や企業と提携する、フードバンクに登録する等）も検討しましょう。

Q8

□ 食物アレルギーにはどう対処するか？

アレルギーへの対応は、命に関わります。

だいふくんキッチンでは…

★今回はモデル事業だったので、県社協の自主財源を活用しました。

初期投資(備品や調理器具などの購入等)にはやはり費用がかかりますので、一定の資金は必要かと思います。

だいふくんキッチンでは…

★今回は大分市保健所に相談をしました。

モデル事業ということで、5回のみで開催であることもあり、全員無料提供であれば「食品取扱バザー等の開催届け」で良いとの助言をいただきました。

だいふくんキッチンでは…

★今回はモデル事業なので、無料で提供しました。

保健所との兼ね合いもあるかと思います。

だいふくんキッチンでは…

★今回は同時期(2016.6.30)に立上げた「フードバンクおおいた」に寄せられた米や調味料を使いながら、生鮮食品は購入しました。

寄付で寄せられた食材を活かした料理を作るには、相当な調理知識が問われます。料理経験の長い、地域のベテラン主婦の方々がいるととても助かります。

だいふくんキッチンでは…

★今回は申込時に申告してもらい、更に電話で保護者の方に確認し、当日は名札にアレルギーを書く欄を設け、スタッフ全員で確認するようにしました。

アレルギーは時に命に関わります。何重にも確認しましょう。

Q9

□ 保険をどうするか？

人が集まる活動です。必ず保険に入っておきましょう。

Q10

□ リスク対応は？

不審者・地震・火事・急病などのリスクにどう備えるか、事前に話合っておきましょう。

だいふくんキッチンでは…

★ボランティア活動保険で対応しました。

自分たちの実施の状況、頻度に応じて他の保険を活用した場合もあるかと思います。

だいふくんキッチンでは…

★今回実施した、「社会福祉会館」は一般来館者も多く訪れるため、不審者対策には特に気をつけました。

セキュリティ対策は以下参照。

(参考)：名札兼スタンプカード (山折りにして使用)

大津町だいふくん KITCHEN 参加証		スタンプカード					
★お名前 _____ (ニックネーム： _____)		日付	8月3日	8月10日	8月17日	8月24日	8月31日
★アレルギー _____		きたとき					
★緊急連絡先 _____		かえるとき					
		「きたとき」と「かえるとき」にきちんとスタンプがもらえた子は良いことがあるよ！					

(参考)：だいふくんキッチンのセキュリティ対策



STEP5: 企画書に添って役割分担をし、それぞれ準備を開始します。

例：だいふくんキッチンでは、班分けをして、それぞれの準備を同時進行で進めました。

(役割分担書の例)

	内容	詳細	主務	副務
統括班	予算（お金）の管理	各担当が使用するお金を把握・記録	●●さん	●●さん
	会場の申請		●●さん	●●さん
	保健所への相談・申請		●●さん	●●さん
	保険の手続き		●●さん	●●さん
	関係各位への説明	地元の学校、自治会、子ども会、消防、警察、行政関係者など	●●さん	●●さん
	打ち合せ会	打ち合せ会の資料作成・運営	●●さん	●●さん
	参加者への対応	持参物への電話連絡、問合せへの対応など	●●さん	●●さん
備品班	備品の準備	会場の下見と、備品の確認	●●さん	●●さん
		名札の作成	●●さん	●●さん
		看板・表示の作成	●●さん	●●さん
		お約束ごとの配布用紙作成	●●さん	●●さん
		必要な物品の購入（通販・買い出し含む）	●●さん	●●さん
		ユニフォーム等の準備	●●さん	●●さん
		メンバー必携資料（危機管理マニュアル含む）の作成・準備	●●さん	●●さん
調理班	料理の準備	当日のレシピ(案)の検討 ※最終的には皆で決める	●●さん	●●さん
		レシピに沿った食材の書き出し	●●さん	●●さん
		レシピに沿った必要調理器具の書き出し	●●さん	●●さん
		必要な食材・調理器具の有無の確認	●●さん	●●さん
		調達が必要な食材・調理器具の調達方法の検討・見積もり	●●さん	●●さん
広報・啓発班	広報・啓発	チラシの作成と学校等への持ち込み・配布	●●さん	●●さん
		関係団体との調整	●●さん	●●さん
		ボランティアさんへの呼びかけ・人数等の確定	●●さん	●●さん
		ボランティアさんとの調整（内容の相談等）	●●さん	●●さん
		その他マスコミ対応等	●●さん	●●さん
全員	掃除等	会場の掃除	全員	
		飾り付け	全員	

チラシ (例)

- ① 日程・時間
- ② 場所(地図)
- ③ 対象
- ④ 内容
- ⑤ 申込書
- ⑥ 連絡先

申込欄には、アレルギーの有無も明記してもらうようにしました。

大津町 だいふくんKITCHEN Q&A

Q: 対象者は「おおむね12歳以下」とありますが、中学校1年生のお兄ちゃんも、一緒に参加していいのでしょうか？

A: 中学生のお兄ちゃん・お姉ちゃんなどについては、一緒に来ていただいて結構です。

Q: 保護者は必ず一緒に参加しなければなりませんか？

A: 保護者は必ず一緒に参加してください。

Q: 未就学児については、必ずしも同伴いただく必要はないのでしょうか？

A: 未就学児については、必ずしも同伴いただく必要はないと思いますが、安全面等には十分気をつけるように、各ご家庭でもお話しいただければと思います。

Q: 保護者の送迎は必要ですか？

A: 送迎は必ずしも必要ではありません。(子ども達だけで来ていただいても結構です)

Q: アレルギーが怖いので、お弁当を持参して、学習やレクリエーションだけの参加も可能ですか？

A: 可能です。

Q: 申込みをしたら必ず参加できますか？

A: 会場の収容人数や、食事の提供数を鑑みて、調整の上、ご連絡させていただきます。

Q: スタンプカードは当日もらえるんですか？

A: お越しいただいた際にお渡しいたします。

■電話: 097-558-0300 (大分県社会福祉協議会 地域福祉課 衛藤・吉岩)

この取組は、2016.6.30に設立したフードバンクおおいたの食材の活用等を目的に、夏休み期間を利用して大分県社会福祉協議会が実施するモデル事業です。

裏面には、お母さん達が疑問に感じそうなことを「Q&A」形式で掲載しました。

STEP6 : 前日準備

※使用する会場にもよるかと思いますが、もし前日に準備ができることがあれば、準備をしておきましょう。

※また初回開催日の前日は、集まれるメンバーで、最終確認をしておくといいかと思います。

(例)

- | | |
|--------------------------------------|--|
| ☐ 会場はキレイ？ | ☐ 食材はそろった？ |
| ☐ 危険箇所はない？ | ☐ 調味料はたりる？ |
| ☐ 最終的な参加者は何人？ | ☐ 食器はたりる？
(お箸・コップも？) |
| ☐ 当日は誰が何をやる？ | ☐ 飲み物は大丈夫？(夏場は特に) |
| ☐ 当日の流れは？ | ☐ 家電は動く？ |
| ☐ 当日何を持ってくる？ | |

だいふくんキッチンでは…

だいふくんキッチン前日は、みんなで集まって最終ミーティングを実施。

その後、参加者数分の食器を予め出しておいたり、デザートゼリーを作って事前に冷蔵庫に入れておいたり、会場を整えたりと、前日のうちにできる準備は全部しておきました。

ところが！！なんと、ランチタイムに炊飯器を空けてビックリ！！お米が、驚くほどの硬さに炊きあがっていたのでした…。

時間があれば、機械類がきちんと動くかどうかの確認もしておきたいところです。



↑ 会場

↑ 名札

STEP7：子ども食堂の開店（当日）

※ 当日はとにかく「事故なく、ケガ無く、楽しく」をモットーに、メンバー同士協力して取り組みましょう。

(例)

大津町だいふくんKITCHEN 1日の流れ (8月3日の予定)

- 10:00 1階だいふくんキッチンにて、参加者スタンプ押印（随時）
2階 和室で学習ルーム（宿題）開始
- 11:50 「いただきますの会」
- 12:00 1階だいふくんキッチン開店
⇒ 昼ご飯、食事が済んだ人から自由時間
- 13:00 4階大ホールの開放（レク会場）
※食事が終わった子から4階へ
(13:00～14:00 DVD人権学習)
- 13:20 レクリエーションスタッフ集合
- 13:30 キッチン閉店、片付け（随時）
- 14:00 4階大ホールレクリエーション
(お昼からも宿題がしたい子は2階和室へ)
適宜休憩
帰りのスタンプ押印（随時）
- 16:00 終了、片付け開始



今日の
献立

※野菜の入ったそばろ丼
※お味噌汁・お漬け物
※デザート



STEP8：振り返りはお早めに！

- ※ 終わったら、良かった点や反省点、次回に向けて気づいたことなどを、記憶が新しいうちに振り返っておきましょう。
- ※ みんなで出し合った意見を次回開催に活かしましょう。

だいふくんキッチン（8月24日）振り返り

2016.8.24 16:00～

8/24(水) 晴れ

★参加者数：44名（保育園児2名、保護者1名、幼児1名含む）

★スタッフ数：31名

（大人のボランティア12名、大分大学2名、市町村社協2名、地区の民生委員さん1名、近隣の中学生1名を含む）

終了後の振り返りを受けて

（追加購入）

- ☐ 氷（麦茶に使用）を追加購入
- ☐ 砂糖が少ないので補充
- ☐

（確認・共有事項）

- ☐ おでこをぶつけた子がいた（※保護者に連絡済み）
→ 廊下を走らないよう工夫をする。
- ☐ 風船は、取り合いになり、また帰宅時に遊んで危険なため、配布しない。
- ☐ 男の子同士の喧嘩があった。スタッフがすぐに止めに入ったので問題はなかったが、●●くんは先週も喧嘩になっていたので、見守り班は留意する。
- ☐ 毎回料理の量が少し多すぎるようなので、子どもが食べることを想定して「 $\times 0.8$ 」くらいでの計算が必要かもしれない。
- ☐ お米は4升到減したものの、それでも余ったので、次回は7合 $\times$ 5台=3.5升にする。
- ☐ 夏休みも終盤になり、宿題を終わらせた子どもも増えてきたので、午前中から遊べる準備も必要。

次回8月31日に向けた全体の打合せ会は、8月30日(火)16:30～実施。



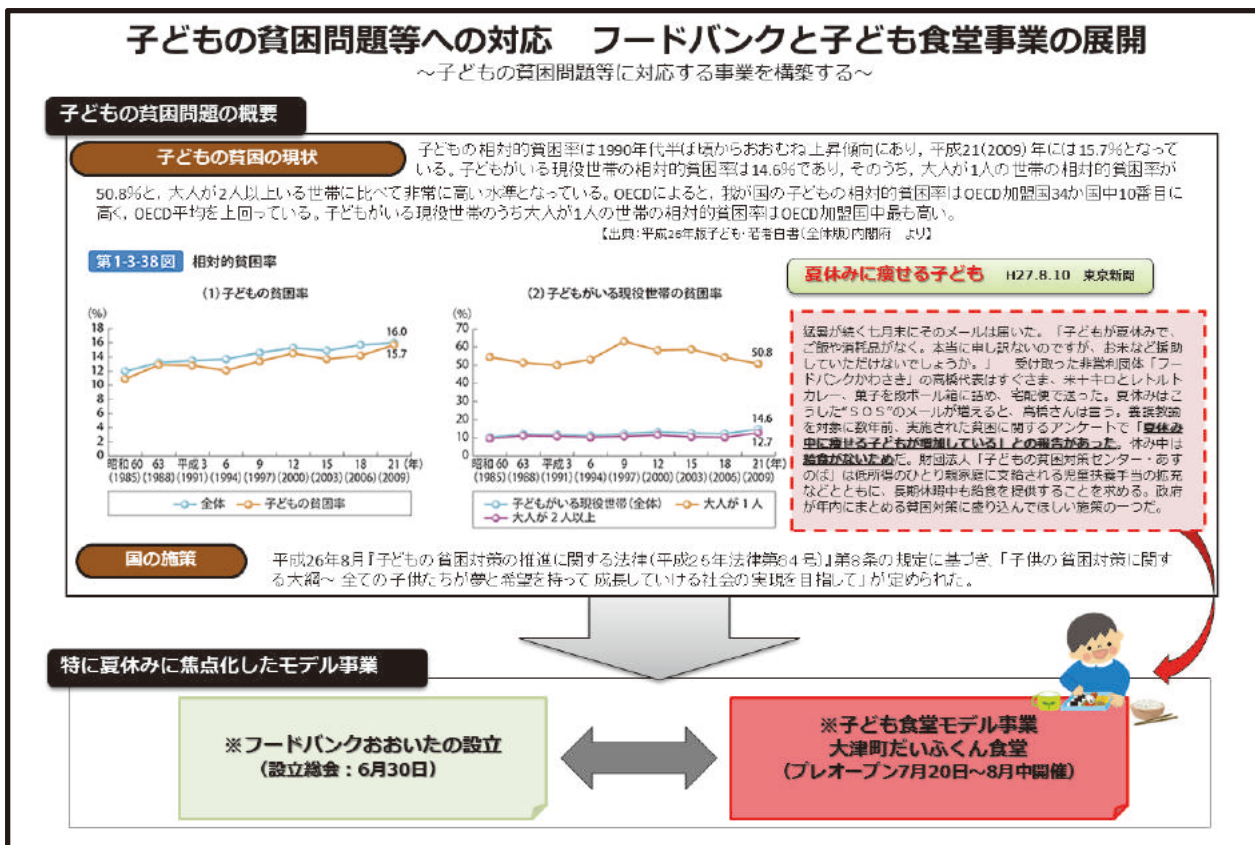
3 大分県内のこども食堂

	名称	所在地	開設日	運営日時	参加費等
1	らんぷの木	宇佐市上庄 1 1 4 3 - 6	27年 12月	毎週水曜日 17:00～	無料
2	コミュニティカフェまめろし	日田市若宮町 5 - 4 1	28年 2月18日	毎週金曜日 夕方	300円
3	ころう子ども食堂	別府市荘園町 6 組の 2	28年 4月1日	毎日 10:00～16:30	200円と 250円
4	しげまさこども食堂 へげんき広場～	豊後大野市三重町内田 4 1 0 6 - 1	28年 4月2日	毎月第 2 第 4 土曜日 15:00～19:00	子ども無料 大人200円
5	こどもの時間プロジェクト	大分市中央町 3 - 3 - 1 9 (the bridge内)	28年 4月17日	月 2 回日曜日 12:00～14:00	無料
6	あんのん子ども食堂	別府市内竈 3 組 3 の 2 (西念寺)	28年 4月25日	第 4 月曜日 18:00～20:00	200円
7	中津子ども食堂・夢	中津市一ツ松 1 9 8 - 1 (高齢者サロンこまどりの家)	28年 7月13日	毎週水曜日 17:00～21:00	子ども100円 大人300円
8	つる子ども食堂	大分市岩田町 3 - 2 - 4 (なごみの家)	28年 7月23日	毎月第 4 土曜日 10:00～14:00	子ども無料 大人200円
9	さわらび子ども食堂	中津市植野 2 4 1 番地の 1 (特養さわらび)	28年 7月26日	毎月第 2 第 4 火曜日 17:30～19:30	子ども100円
10	和ッショイ食堂	杵築市大字南杵築338番地 (杵築市隣保館)	28年 7月29日	毎月第4金曜日 11:30～14:00	200円
11	すみれ学級	大分市敷戸西町 1 1 8 2 - 2 9 8 (すみれ薬局跡)	28年 8月1日	毎週 3 回 月、水、金 17:00～20:00	無料
12	子ども食堂	豊後高田市玉津プラチナ通り 「玉津コミュニティカフェ こいこい」	28年 8月1日	週 2 回 月、木 16:00～21:00	300円
13	金池こども・みんなの食堂	大分市上野丘 2 丁目 8 - 2 7 (金剛宝戒寺敷地内 宗 矩子)	28年 10月8日	毎月第 2 土曜日 9:30～16:00	子ども無料 大人200円
14	こども食堂ぷくぷく	臼杵市江無田14組 (元気力ネットワーク・うすき)	28年 10月24日	毎月第 4 月曜日 17:00～20:00	200円
15	森のクレヨン食堂	大分市明野北町5-16-7 (カフェ森のクレヨン)	28年 11月9日	毎月第 2 第 4 水曜日 16:00～18:00	無料
16	鶴崎子ども食堂	大分市大字鶴崎352-1 (豊後思索庵)	28年 12月3日	毎月第 1 第 3 土曜日 11:00～13:00	無料

平成28年12月1日現在で本会が把握しているところ（掲載不可の連絡があったところは除く）。

4 大分県社会福祉協議会のモデル事業の取組み

※ 昨年度末に予算組みをして、本年7月～8月の夏休み期間に焦点化したモデル事業を展開しました。



※ 事業の流れは以下のとおりです。

月	時 期	主たる流れ	備考
4月	4月11日	第1回子ども支援推進会議	目的の共有 次回までの取組みについて役割分担
	4月18 ～22日	意見出しメンバーアンケート実施	
	4月28日	第2回子ども支援推進会議	意見出しアンケート結果の共有 会場の確認
5月	5月2日	第3回子ども支援推進会議	進捗状況確認 今後のロードマップ
	5月16日	第4回子ども支援推進会議	進捗状況確認 企画書案①の作成
	5月23日	第5回子ども支援推進会議	進捗状況確認 危機管理マニュアル(素案)の検討
	5月30日	第6回子ども支援推進会議	進捗状況確認 保健所の助言を受けた上での検討。見積予算のつめ等
6月	6月6日	第7回子ども支援推進会議	進捗状況確認 チラシ(案)の検討、広報方法の検討等
	6月13日AM	学校との打ち合せ①	趣旨説明及びご協力のお願いに伺う
	6月13日PM	第8回子ども支援推進会議	進捗状況確認レシピ(案)・アレルギー対応の検討
	6月20日	第1回大津町だいふくんKITCHEN 推進協議会(運営者打合せ)	事業の概要説明、企画内容説明 当日のメニューと準備物(案)に対する意見だし等
	6月27日	第9回子ども支援推進会議	進捗状況確認 ボランティアの確認等
	6月29日	衛生管理責任者講習	スタッフ3名が受講
7月	7月4日	第10回子ども支援推進会議	進捗状況確認 当日プログラム及び最終役割分担の確認等
	7月11日	チラシの配布及び募集開始	受付開始～22日まで
	7月12日	第2回大津町だいふくんKITCHEN 推進協議会(運営者打合せ)	当日の内容についての最終報告及び、当日に向けた役 割(ご協力)の依頼
	7月20日	フードバンクキッチンの開催	当日に向けたプレ調理の実施
	7月22日	会場の大掃除	当日に向けた大掃除の実施
	7月26日	第11回子ども支援推進会議	進捗状況管理 最終確認
8月	8月3日	「大津町だいふくんKITCHEN①」	参加者数：50名、スタッフ数24名、視察者数5名
	8月10日	「大津町だいふくんKITCHEN②」	参加者数：39名、スタッフ数22名、視察者数7名
	8月17日	「大津町だいふくんKITCHEN③」	参加者数：38名、スタッフ数26名、視察者数19名
	8月24日	「大津町だいふくんKITCHEN④」	参加者数：44名、スタッフ数31名、視察者数6名
	8月31日	「大津町だいふくんKITCHEN⑤」	参加者数：40名、スタッフ数35名、視察者数6名
9月	9月中旬～	「子ども食堂開設に向けた手引書」 作成	
		だいふくんKITCHEN推進協議会 (関係者打合せ)	振り返り及び反省会 手引書(素案)の検討

※実施の様子



工夫したポイント

① 「だいふくんキッチン」の表示用紙

表示は、「みんなで作る食堂だよ」とのメッセージを込めて、左写真にもあるように、子ども達にも作成を手伝っていただきました。

② 看板

看板は、毎回スタッフが手書きをしました。

料理の写真については、毎週末にスタッフがその週に提供するメニューを試作。その中で工夫した方がよい点や、味付けの感想などについて調理班に伝え、少しでも子ども達に喜んでもらえるよう努力をしました。

③ いただきます会

今回は「みんなで一緒にワイワイ食べる」ことを重視し、みんなそろったところで、子どもの代表者に「いただきます」のかけ声をお願いしました。

④ 麦茶のキーパー

今年の夏は暑かった！ということで、熱中症対策には気を使いました。麦茶のキーパーを各所において、とにかく水分補給はこまめにするよう促しました。

⑤ ランチョンマット

ランチョンマットは大分県社協のマスコットキャラクター「だいふくん」のイラストを使って、スタッフが手作り。毎回色々な表情のだいふくんを使いました。はしっこにその日のメニューを掲載して、メニュー表も兼ねました。

その日のメニューを記載



⑥ 手洗い

食事を提供するにあたって1番怖いのが食中毒。手の洗い方を掲示して、こまめな手洗いを促しました。



⑦ 表示

今回は、10：00～16：00 までと時間が長かったので、子ども達が1日の流れを確認できるように掲示をし、また同じ用紙を受付で配布しました。



⑧ 子ども到着・帰宅のチェック

到着時刻・帰宅時刻を受付で確認することで、確実に迎え入れ・送り出しができるようにしました。

※大津町だいふくんKITCHEN 受付名簿

No	学年	氏名	愛称	性別	緊急連絡先	8月31日		食物 アレルギー	到着 時刻	帰宅 時刻	備考
						食事	レク				
1	1年	大分太郎	たろちゃん	男	080-●●-●●	○	○	そば			
2	2年	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・	女	080-●●-●●	○	○	無			15:00にお母さんが 迎えに来る
3	2年	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・	女	080-●●-●●	○	×	無			
4	3年	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・	男	080-●●-●●	○	○	無			
5	4年	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・	男	080-●●-●●	○	○	無			
6	4年	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・	男	080-●●-●●	○	○	ピーナッツ			
7	5年	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・	女	080-●●-●●	○					
8	5年	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・								
9	6年										
10											

スタンプカード

日付	8月3日	8月10日	8月17日	8月24日	8月31日
日付					
きた					

大津町だいふくん KITCHEN 参加証

4年		...	男	080-●●-●●	○	○	ピーナッツ
5年		...	女	080-●●-●●	○		
5年							
6年							

大津町だいふくん KITCHEN 参加証

★お名前 _____

(ニックネーム) _____

★アレルギー _____

★緊急連絡先 _____

スタンプカード

日付	8月3日	8月10日	8月17日	8月24日	8月31日
きたとき					
かえるとき					

「きたとき」と「かえるとき」にきちんとスタンプがもらえた子は良いことがあるよ！

5 ボランティア活動をする上で気をつけたいこと

活動対象者の
気持ちを大切に
しましょう。



自分の思い込みで活動するのではなく、まず相手の立場に立って気持ちを尊重し、相手が何を必要としているのかを考え活動することがボランティア活動の基本となります。活動が単なる「自己満足」にならないよういつも心に留めておく必要があります。

活動を通して知り得た対象者に関する情報は個人のプライバシーです。絶対に、第三者に漏れないように注意が必要です。



プライバシーを
守りましょう。

約束を
守りましょう。



始めるボランティア活動として、また相手がある活動として責任が伴います。「ボランティアでやってるんだから」ではいけません。相手と約束した活動内容や時間、活動先での約束やルールは必ず守りましょう。

自発的に活動をすすめる中で様々な問題に直面することがあります。
問題に直面したら一人で悩まずに、スタッフのメンバーや福祉関係者、社協ボランティアセンター職員に相談しましょう。



心配なことは
相談しましょう。



気づいたことを
話しましょう。

ボランティアは自分が気付いたこと、できることを、自分からやっていく自主的な活動です。「こうしたらもっといいな」と思ったことを提案しましょう。

また、自分の気づきを家族や友人に話したり、記録にまとめたりすることで新たな「気づき」があるかもしれません。

自分の生活にあったペースで活動しましょう。
無理をしないことが長続きの秘訣です。

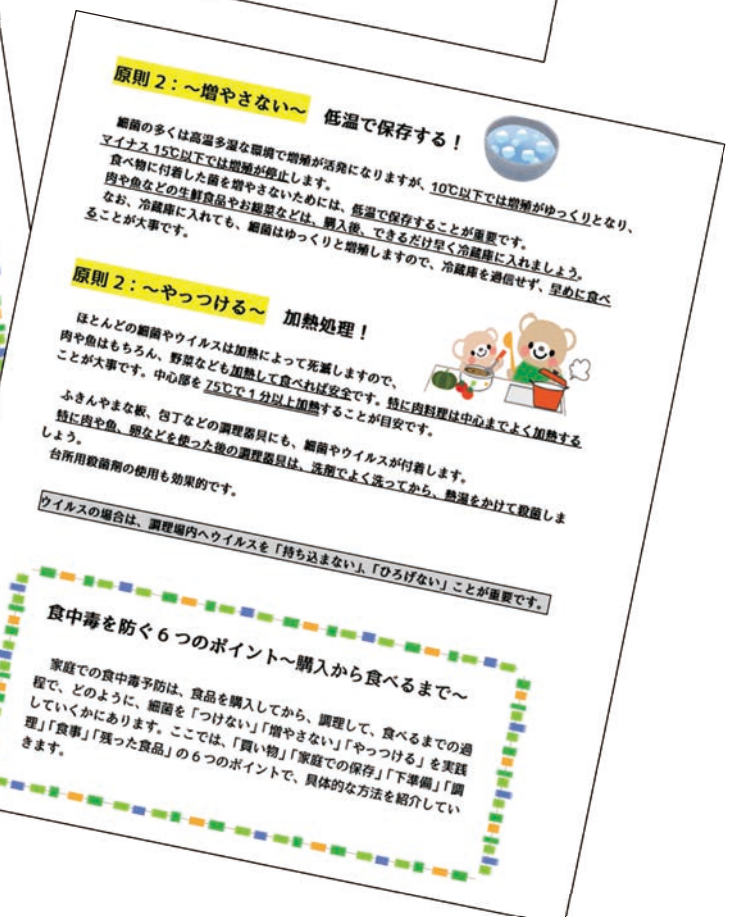
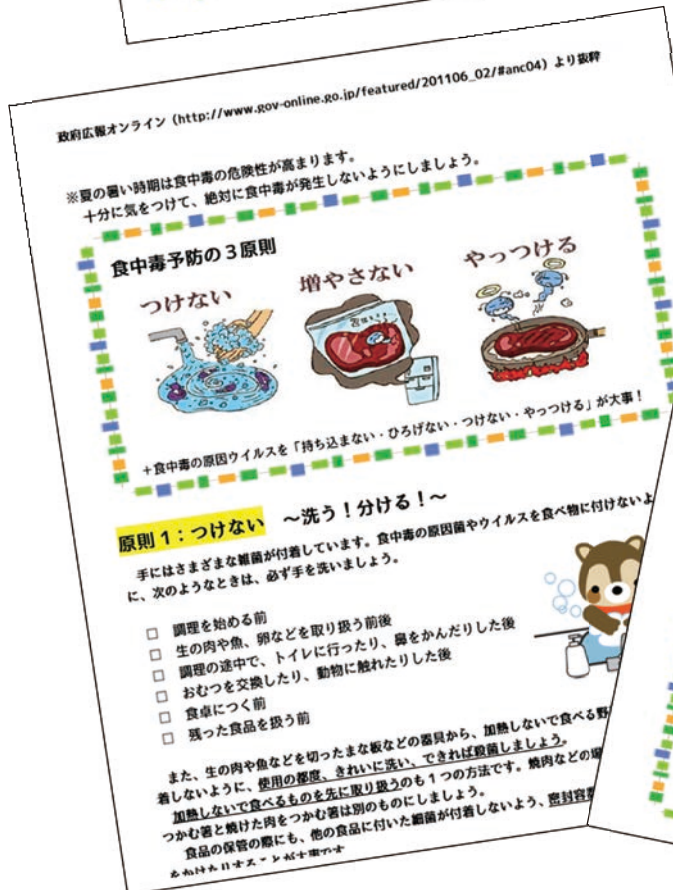
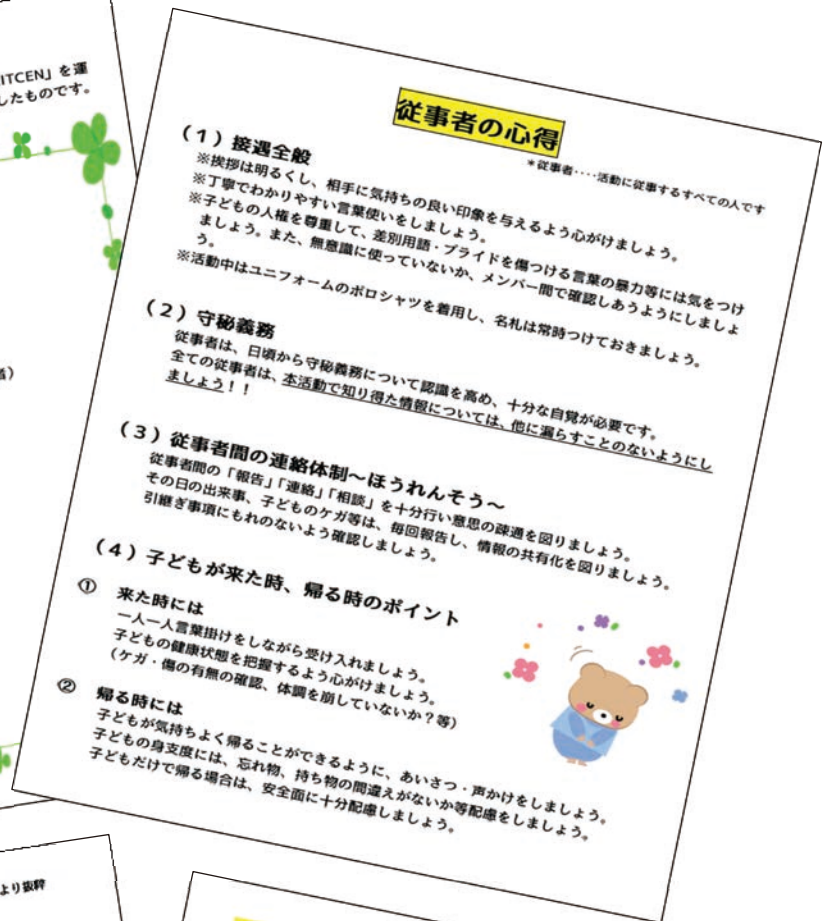
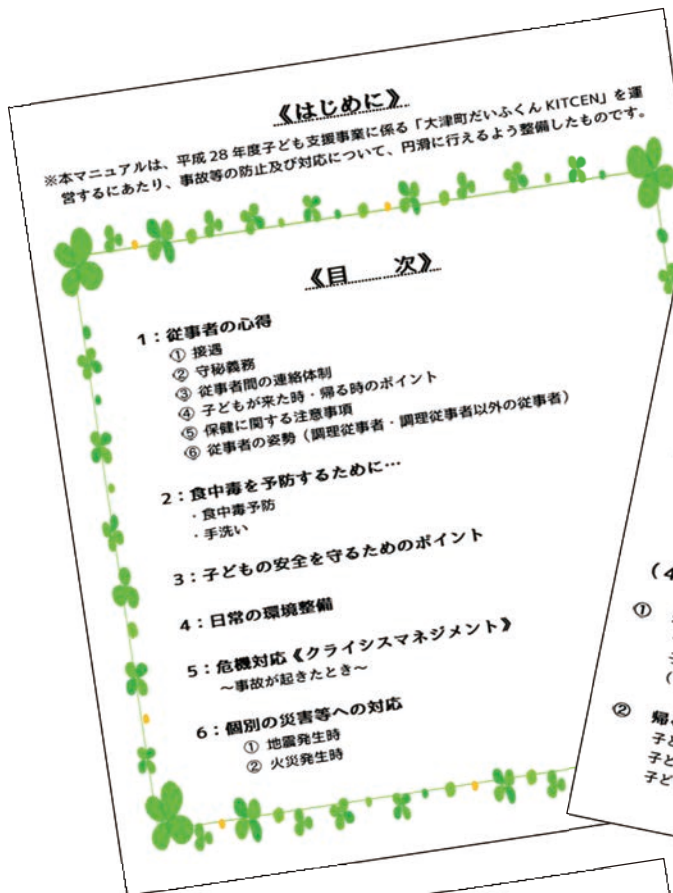
無理なく
継続できる活動を
しましょう。



ボランティア保険の
加入をおすすめします。

活動中の事故や損害などを補償するボランティア保険などがあります。活動前に加入を検討しましょう。

6 危機管理《セキュリティ》マニュアル・※概要



子どもの安全を守るためのポイント

(1) 子どもの特性を理解する

- ※子どもって・・・
- ひとつのものに注意が向くと、周りのものが目に入りにくくなります。
 - ものごとを単純にとらえ、その時々気分によって行動が変わったりします。
 - 「あぶない」とか「注意しなさい」という抽象的な言葉では理解できません。
 - 「あぶない」とか「注意しなさい」という抽象的な言葉では理解できません。
 - 場面や状況に応じた行動ができにくいことがあります。
 - 大人がそばにいと頼る気持ちが強くなります。

(2) 子どもへの安全指導

- 言葉で教えるだけでなく具体的に教えてあげましょう。
- 子どもが理解するまで何度でもくりかえして教えてあげましょう。
- 体調の変化やケガをしたらすぐに大人に伝えるよう教えましょう。

(3) 保護者への啓発・協力依頼

- ※以下のようなことに対し、保護者への啓発をし、協力をお願いします。
- 子どもの身体にあったサイズの靴及び衣服を用意してもらいましょう。
 - 安全のため、手足の爪は伸びたら切りましょう。
 - 朝食の大切さを理解してもらいましょう。

日常の環境整備

～子どもの動きや目の高さで安全を確認しよう！！～

★環境整備

- 日頃から危険箇所の環境整備を行い、安全に遊べるように努めましょう。
- 棚などの転倒防止。落下する恐れのある物はチェックしましょう。
- 遊ぶ時は、フードやひも付の衣服、長めのスカートは危険を伴うので極力避け、来ている場合は怪我をしないよう注意しましょう。
- スポンの裾を引きずらないよう注意し、ひきずっている場合は、ロールアップしましょう。
- 従事者（見守り担当）は子ども全体の遊びを把握できるよう、見守る位置に留意しましょう。

★全 体

- 常に人数把握し、声を掛け合い、危険防止の確認を行いましょう。
- 不審者の侵入や子どもの飛び出しに注意し、出入口を適切に管理しましょう。
- 危険なものが落ちていないか点検するとともに、常に清潔を保つよう、随時「取り除く・はく・洗い流す」等、環境への配慮に努めましょう。
- 入ってはいけない場所等（研修中の教室など）の管理には、十分注意しましょう。

★出入口のチェック事項

- 戸の開閉時は、手指を挟まないように注意をしましょう。
- 扉の向こう側に子どものいないことを確かめてから戸を開閉しましょう。
- 災害時の避難路が確保されているか、常に意識しておきましょう。
- 必要な時施設されているか、不審者の侵入に対し防犯の用意はあるか点検しておきましょう。

★家 具

- 家具の角にぶつかってケガをしないよう、ガードテープを貼る、またはカバーを掛けて安全対策を行いましょう。

危機対応（クライシスマネジメント）

事故がおきたとき

《対応の基本姿勢》

子どもの生命と健康を最優先し、適切かつ迅速な応急手当が必要となります。事故により心身共に苦痛を被った子どもと保護者の気持ちに、どう応えていくかが重要であり、真摯にかつ誠意ある態度で対応することが大切です。

※第一発見者の対応の在り方が、その後の明瞭に分けるほどの大きな意味をもちます！

（手順）

(1) 協力者、応援を求める。

近くにいる人に協力を求めることにより、事故の内容の把握及び適切な対応。手当や病院の受診の判断が的確となります。また事故に伴う行動を分担することができます。

(2) 救急車の依頼（119番） ※落ち着いてかけます！！

消防庁 火事ですか、救急ですか	火事です	救急です
どうしましたか	・ ○○から出火しました	・ ○○歳の（男・女）児が ○○しています
何区、何町、何丁目何番何号です	大分市津町 2-1-41 総合社会福祉会館	
電話番号を教えてください	電話 (097) 558-0300	です
目印はありますか	目印は、[斜め前に大分商業高校]が	

(3) 適切な応急手当をする

従事者の応急手当は、救急隊員や医師による処置を受け自己判断のみで長時間にわたって行っているわけではありません。少しでもよい状態で引き継いでもらえるようにしましょう。

個別の災害等への対応例

1 地震発生時における予防と対応

(1) 予防(事前の環境整備)

- 施設設備の点検等
- 地震時に、転倒しやすい家具・電化製品・備品などが転倒防止がなされているか点検しましょう。
 - 地震後、万一出火した時に備え、消化器の所在を確認しておくとともに、正しい使用方法を把握しておく。
 - 避難経路に障害物等がないことを常に確認しましょう。
 - 防火責任者を明示し、責任をもって日常の点検と整備をきちんとしましょう。



(2) 大地震発生時の対応

館内（遊び・食事中）に地震がおきた場合

- 子ども達に安心できるような言葉をかけ、具体的に「姿勢を低くして落下物から身を「守るよう」指示をして、緊急避難させましょう。
- 構木・窓ガラスなどから子ども達を遠ざけましょう。
- 子ども及び従事者は、机やロッカーなどの下に身を隠し、揺れが収まるまで様子を見ましょう（あわてて飛び出さない！）。
- 揺れが収まったら、一時駐車場へ避難し、全ての子ども達、参加者と従事者の安全及び人数の確認を行い、リーダーを介して大分県社協事務局長（もしくは総務部長）に報告します。
- 従事者は指示が出るまで座って待機しましょう。施設内には安全が確認できるまでは立ち入らないようにしましょう。

緊急避難後は、大分県社協職員の指示に従い安全を確保しましょう。



実践報告① 杵築市のサロン活動を活かした「和ッショイ食堂」



(日 時) 平成28年7月29日(金) 11:30~14:00

(場 所) 杵築市隣保館

杵築市大字南杵築 338 番地 1 (杵築市隣保館内)

(対象者) 地区の高齢者や子ども達

(主 催) 南台地域きずなづくりの会

進みゆく高齢社会のなか、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるように、心の通い合うネットワークづくりを目指し、『フレンド』を立ち上げて13年目になります。

お互いの交流は深まっていますが、高齢者の孤立・孤食が懸念されるとともに、世代を超えたネットワークの、更なる広がりや深まりが必要と感じていました。

そこで、『フレンド』会員有志等が発起人となり、『おたがいさま』の関係で地域の『絆』をあらためて確認できる地域の居場所として、子育て中の親子も含め、『和ッショイ食堂』を立ち上げました。

月1回開催を基本に、『食』を核とした地域交流の場として、多くの方々に利用していただけることを期待しています。

(日程)

8:30~ スタッフ集合・調理開始

※一週間前に会員宅にて調理試食会議
※開催前日は会場設営と下ごしらえ

11:00~ 「盛り付け(ランチョンマットにワンプレートランチが基本形)」開始、配膳
利用者受付随時

11:30~ 食事会

12:30~ コーヒー(紅茶)タイム

※この時間を利用して、高齢者等の「出番タイム」
(地域の話題を語るなど)

14:00~ ※次回開催日掲載の案内状を配布
解散、スタッフにて片付け開始

垂れ幕は代表の旦那様の手作り!!

隣保館のお部屋を使ってゆったりと



沢山の数を用意するのはいつもと勝手が違います
この会に込めた思いをお話
くださいました

素敵なスタッフの皆さん

(工夫していた点等)

まずは、参加者の呼びかけとして、地区の皆さんを一軒一軒、今回の趣旨を説明してまわったそうです。

当日は、地域のおじいちゃん・おばあちゃん、子ども達で席は満席!「あらー久しぶりやねー」

「元気にしよった?」の声であふれました。

「いただきます!」のかけ声をしてくれたのは、元気な小学生の男の子。楽しそうな子ども達の声に、おじいちゃん・おばあちゃんの顔もほころびます♪

和ッショイ食堂の特徴は、とにかく全てが手作りのこと。垂れ幕、お品書き、看板などの備品を手書きで作ったのも、お花を生けたのも全て、芸達者なメンバーの皆さんです。

事前準備として、県社協や保健所を招いた勉強会も開催し、区長・市社協・市関係課・学校や子ども会などにも趣意書を持参し、説明を行うなど、「地域のみんなと一緒につくる、地域の食堂」になる工夫が満載でした。

引続き、定期的で開催していくとのことで、みんなの居場所になれば良いと思います。



おしゃれな看板も手作り!

ようこそ!!

和ッショイ

食堂へ

おしゃべり会

グループ

グループ

グループ

グループ

グループ

グループ

グループ

グループ

グループ

グループ

グループ

グループ

グループ

グループ

グループ

グループ

かわいいランチプレート♡

実践報告② 宇佐市社会福祉協議会の民生委員児童委員協議会の活動を通した「キッチンプラザ」



(日 時) 平成28年8月26日(金) 10:30~14:00
 (場 所) 宇佐ふれあいプラザ
 (宇佐市南宇佐 2126 番地)
 (対象者) 宇佐小学校区の児童(概ね 12 歳以下)と保護者
 (主 催) 宇佐地区民生委員児童委員協議会 宇佐市社会福祉協議会
 (協 力) 宇佐市民生委員児童委員協議会 宇佐小学校
 大分県 大分県社会福祉協議会

(開催に至った経緯等)

今、子どもの「食」について、非常に関心が高まっている中、育ち盛りの子ども達に十分な栄養をとってもらうとともに、大人数で食卓を囲む楽しさを知ってもらうことはとても大事な事だと考えていたメンバーの方々が、「居場所」としての子ども食堂の意義にご賛同いただき、モデル的に実施をしてくださいました。

日頃から、ふれあいいきいきサロンの活動をされている皆さんは、企画・声かけ・運営などを、抜群のチームワークで実践されていました。

受付をしながら、朝食を食べたか確認中



はじめの会で「みんなのお約束」を発表



(内 容)

10:30 集合
 10:30~11:30 お勉強・工作体験
 11:30~12:30 みんなでお料理体験
 12:30~13:20 おひるごはん
 13:20~14:00 みんなで楽しくゲームをしよう!
 14:00 終わり

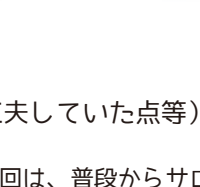
宿題が終わってない子はお勉強



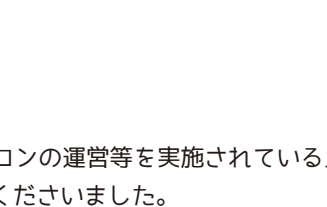
工作①手芸で「ふくろう」を作ろう!



工作②ねんどでお皿を作ろう!

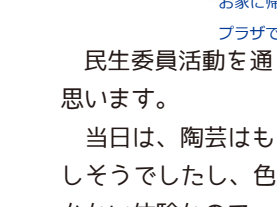


自分たちでお料理にもチャレンジ!!

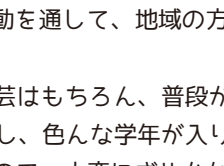


今日のメニューはハンバーグ

最後にいつもサロンでやっているレクを体験



お家に帰るまでがキッチンプラザですよ!



(工夫していた点等)

今回は、普段からサロンの運営等を実施されている民生委員さん・主任児童委員さんが中心に進めてくださいました。

民生委員さんの日頃の訪問活動を活かして、個別の声かけも実施した結果、急な開催にもかかわらず、たくさん子ども達が参加してくれました。(子ども28名、大人(おばあちゃん達)3名)

民生委員活動を通して、地域の方々と日頃から顔なじみの関係を作ってきたことで、受入れがスムーズだったのだと思います。

当日は、陶芸はもちろん、普段からお裁縫をしたことの無い子も多く、なれない作業に四苦八苦しながらもとても楽しそうでしたし、色んな学年が入り交じって「みんなで一緒に作って、みんなで一緒に食べる」ということも、なかなかない体験なので、大変にぎやかな、楽しい夏休みの思い出になったと思います。

実践報告③ 夏休みの県社協の取組みを参考に、民生委員さんをはじめとする

地域の皆さんがクリスマス会を開催♪



(日 時) 平成28年12月26日(月)
 (場 所) 大分県総合社会福祉会館 1階喫茶跡地ほか
 (対象者) 舞鶴小学校区の子供たち
 (主 催) 総合社会福祉会館のご近所にお住いの皆さん
 (民生委員さんやボランティアの皆さん等)
 大分県社会福祉協議会

この取組は、夏休み期間を利用して本会がモデル的に取組んだ「大津町だいふくん KITCHEN」を参考に、総合社会福祉会館のご近所にお住いの皆さんが「子ども達に楽しいクリスマスを…」との思いから企画・実施して下さったものです。

OGを含む民生委員さん・主任児童委員さん・「男の料理教室」に通っていらっしゃる地域のお父さん・そして地域のボランティアのお姉さん達が、料理の腕をふるってくださり、子ども達はおかわりに何度も並んでいました。

午後からはフードバンクキッチン「親子おやつ教室」を同時開催し、料理が得意なおじちゃん、おばちゃんから、美味しいケーキとおまんじゅうの作り方を教わりました。みんなカレーでお腹はいっぱいだったけど、甘いものは別腹とばかりに、美味しく、楽しくいただきました♪

【午前：クリスマス・カレーパーティ】
 8:30～ スタッフ集合・調理開始
 ※当日までに、準備物を各担当者が購入
 ※開催前日に各メニューごとに分量をわけておいた
 だいふくんキッチンオープン
 ※カセットコンロで温めながら、子ども達に好きな
 カレーを選んでもらい、ついでに
 ※デザートは、クリスマスミニカップケーキ
 だいふくんキッチン閉店
 【午後：クリスマス・親子おやつ教室】
 13:30～ おやつ教室の開始
 ※お母さん・お父さんと子ども達が、民生委員さん
 達に教えてもらいながら、ロールケーキやチーズ
 饅頭をつくりました。
 15:30～ みんなで試食会♪
 ※完成したおやつをみんなで試食しました。
 お饅頭はたくさんできたので、今回は来れなかった
 きょうだいのみんなにお土産に…



(工夫していた点等)

まずは、事前の打合せに何度もお集まりいただき、当日の流れや、料理の手順の確認などを十分に行いました。その中で、クリスマスの飾り付けや子ども達へのお土産のラッピングなども一緒に行っていました。

当日は3種類のカレーを作るということで、それぞれに担当者を事前に決めて、同時進行で調理を行ったので、十分時間に余裕をもって進行ができました。

「なによりもまずは自分たちが楽しもう!」という気持ちで始めましたが、やはり、美味しい料理を前に楽しそうな子ども達の笑顔を見ていると、大人達も自然と笑顔になっていました。